

DNA IQ™ System - Small Sample Casework Protocol

INSTRUCTIONS FOR USE OF PRODUCTS DC6700

Quick
PROTOCOL

簡易プロトコル

A. 用意するもの

- 95 -100% エタノール
- 95 -100% イソプロパノール
- 1M DTT
- 65°Cヒートブロックまたはウォーターバス (もしくはサーマルサイクラー)
- 70°Cヒートブロックまたはウォーターバス (もしくはサーマルサイクラー)
→ 衣服等のシミ、口内スワブからの抽出の場合
- ボルテックスミキサー
- 1.5mL遠心チューブ(カタログ番号: V1231)
- DNA IQ™ スピンバスケット(カタログ番号: V1221)
- バリアチップ
- MagneSphere® Technology Magnetic Separation Stand (カタログ番号: Z5332等)

B. 試薬調製

- Lysis Bufferの調製: 100µLのLysis Bufferに対し、1µLの割合で1M DTTを加える。
- Wash Bufferの調製: 2×Wash Bufferに1/2相当量 (DC6700:35mL、DC6701:15mL) の100%イソプロパノールおよび100%エタノールをそれぞれ加える。

C. プロトコル (衣服等のシミ、口内スワブからの抽出の場合)

1. サンプルを適当な大きさに切り分け、1.5mLの遠心チューブに移す。
100-250µLのLysis Bufferを加え^{*1}、70°Cで30分間インキュベートする。
2. 新しい遠心チューブにスピンバスケットを挿入し、その中にサンプルとLysis Bufferを移す。室温で2分間遠心する (14,000-16,000 rpm)。
3. 遠心チューブからスピンバスケットを外し、十分に懸濁したResinを、7µL加える。3秒間ボルテックスし、5分間室温でインキュベートする。
4. 2秒間ボルテックスした後、チューブをマグネットスタンドにセットする。溶液中の粒子が分離したら(溶液が澄んだ状態になったら)、粒子に触らないようにピペットで溶液を除く。必要に応じてMineral oilを反応液の液面上に加える。
5. チューブをマグネットスタンドから外し、100µLのLysis Bufferを加えて2秒間ボルテックスにかける。
6. チューブをマグネットスタンドにセットする。溶液中の粒子が分離したら、粒子に触らないようにピペットで溶液を除く。
7. チューブをマグネットスタンドから外し、100µLのWash Bufferを加えて2秒間ボルテックスにかける。
8. チューブをマグネットスタンドにセットする。溶液中の粒子が分離したら、粒子に触らないようにピペットで溶液を除く。
9. ステップ7、8の操作をさらに2回繰り返す。
10. チューブの蓋を開け、5分間室温で粒子を風乾する。
11. 25 - 100µLのElution Bufferを加え^{*2}、2秒間ボルテックスにかける。65°Cで5分間インキュベートする。
12. チューブをマグネットスタンドにセットする。溶液中の粒子が分離したら、粒子に触らないようにピペットで溶液を新しいチューブに回収し、精製産物とする。

*1: サンプルの種類とLysis Bufferの使用量について。サンプル: Lysis Buffer量で表す。

- ・ 血液(液体 40µL程度): 100µL
- ・ 綿棒: 250µL
- ・ S&S 903 paper (15-50mm²): 150µL
- ・ FTA® paper (3-30mm²): 150µL

*2: 溶出液量について

使用したサンプルの量によって調節してください。溶出液量を少なくすると最終精製産物のDNA濃度を高めることが出来ます。



サンプルを適当な大きさに切り分け、1.5mLの遠心チューブに移す



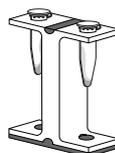
Lysis Bufferを加え、70°Cで加熱



サンプル溶解液をSpin Basketに移し、遠心



レジンを加え室温でインキュベート

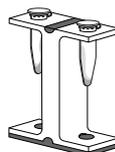


Lysis BufferおよびWash Bufferで計4回洗浄

風乾



Elution Bufferを加え、65°Cで加熱



レジンをマグネットで固定しつつDNA溶液を新しいチューブに回収

衣服等のシミ、口内スワブからの抽出操作の概要

技術的なお問合せは:

e-mail: prometec@jp.promega.com • Tel: 03-3669-7980 • Fax: 03-3669-7982



Revised 5/03
Part #DNA IQJ

DNA IQ™ System - Small Sample Casework Protocol

INSTRUCTIONS FOR USE OF PRODUCTS DC6700

Quick
PROTOCOL

D. 液体サンプル（血液等）の処理について

1. 7μLのResin懸濁液に対し93μLの割合でLysis Bufferを加える(合計100μL)。サンプル数に合わせて、この溶液を用意する。
2. 液体サンプル40μL程度を1.5mLの遠心チューブに移しておく。
3. ステップ1の混合溶液を十分に懸濁し、100μLをサンプルに加える。3秒間ボルテックスにかけ、5分間室温でインキュベートする。
4. 以降は「プロトコル（衣服等のシミ、口内スワブからの抽出の場合）」のステップ4からの操作に準ずる。



液体サンプル、Lysis Buffer、
レジンを加え室温でインキュベート



Lysis Bufferおよび
Wash Bufferで計4回 洗浄

風乾



65°C

Elution Bufferを加え、
65°Cで加熱



レジンをマグネットで固定しつつ
DNA溶液を新しいチューブに回収

液体サンプルからの抽出操作の概要

Additional protocol information is available in Technical Bulletin #TB296, available upon request from Promega or online at www.promega.com

技術的なお問合せは:

e-mail: prometec@jp.promega.com • Tel: 03-3669-7980 • Fax: 03-3669-7982



Revised 5/03
Part #DNA IQJ